Withはかた II

発行
令和5年2月1日
Vol.10

相談事例の紹介

～一人暮らしに不安を抱える身体・知的障がいのAさんに対する支援～

30代の女性Aさんは夫との二人暮らしでしたが、昨年に夫が亡くなられ一人暮らしとなりました。Aさんは金銭管理や家事の難しさ、そして寂しさや不眠などの体調不良といった様々な悩みを抱えておられました。

当センターが窓口となり、ご本人との面談を重ね、居宅介護や訪問看護のサービスを導入、徐々に生活環境や体調管理面での改善が図られていきました。

その後、体調が落ち着いたAさんから「仕事をしたい」と希望があり、一緒に数か所の事業所を見学し、区内の就労継続支援B型事業所を利用することになりました。工賃を得られるようになったことや、事業所内で友人もできたことで、孤独の寂しさを訴えることも無くなり明るい表情が増えてきました。

最近グループホームに居を移されたことで支援が身近に受けられるようになり、安心して日々を過ごされています。

S　　E

東と博多の重心・医ケアねっと発足！！

重心（重症心身障がい児者）や医ケア（医療的ケアが必要な方々）を支えるネットワーク、通称「SEねっと」が発足しました。

日常的に喀痰吸引や褥瘡の管理などの医療的ケアが必要であったり、急変リスクが高いにもかかわらず対応できる事業所が少なく、ヘルパーさんが見つからないことなどが多々あります。その状況に危機感を持った『しまnimo訪問看護ステーション』と多機能型『がじゅまるの家』から、支援者間ネットワークの必要性について相談を受け、区基幹センターがバックアップする形で東区・博多区圏域で準備を進めてきました。障がい福祉事業所や医療機関等、支援に携わっている方々にお集まりいただき会議を開催しています。

第1回　課題の共有
第2回　事例検討
第3回　人材育成・確保について
第4回　3月1日（水）予定

参画希望の事業所はご一報ください

☆博多区の育児サークル☆

❀育児サークルとは❀

子育て中のお母さんたちが中心となり、親同士の交流やお子さんの遊び・体験活動、地域との交流、子育てについての勉強会など、自主的な活動を行っている子育て親子や子育て支援者のグループです。

また、先輩ママのアドバイスや同じ子育て中のお母さんたちとの交流は、育児の不安や悩みを打ち明けるなど、不安を和らげてくれる場所になっています

各サークルによって、活動内容は異なりますが、育児に関する情報交流の場となっています😊

博多区内の育児サークル(ママたちが企画・運営する自主活動)は８か所あり
博多区第２障がい者基幹相談支援センターの地区では、

・こっこクラブ　第1・3・5金曜日(板付公民館)
・にこにこ☆キッズ　毎週火曜日　(弥生公民館)

が開催しています。

会費は無料で、障がいのあるお子さんも親子で参加可能。活動内容は、サークルによって異なりますので、各公民館へご確認ください。

シンボルマーク紹介

耳マーク

聴覚障がい者は、障がいそのものが分かりにくい為に誤解や不利益になることや、危険にさらされるなど、社会生活の上で不安があります。「聞こえない」ことが分かれば相手が気遣ってくださいます。
「耳が不自由です」という自己表示の為に考案したものが耳マークです。
耳に音が入る様子を矢印で示し、一心に聞き取ろうとする姿を表してます。
耳マークは「きこえない」ために様々な場で苦渋を味わった難聴者の聞こえの向上、保障を求めていく積極的な生き方の象徴であります。

難聴者・中途失調者団体連合会HP参照

お知らせ

福岡市の障がい福祉ガイド

福岡市の障がい福祉ガイドは年1回発行されている冊子です。障がいのある方々と、そのご家族などにご利用いただける障がい福祉手帳や各種福祉サービスの申請方法や諸施策の概要の紹介と、各種相談機関や関係施設等の情報がまとめられています。制度の詳細につきましては当センターにお尋ね下さい。

※視覚障がい者の方を対象にしたCD版も作成されています。

博多区第２障がい者基幹相談支援センター
☎０９２－５８９－６２９２

〒812-0894 博多区諸岡1丁目15-22
FAX　092-589-6293
E-mail　daichi@center.email.ne.jp
＜開所日＞平日９：００～１７：００